10 - 4 九州の地震活動 (2006 年 8 月~ 2007 年 1 月) Seismic Activity in Kyushu (August 2006 - January, 2007)

九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター

Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Sciences, Kyushu University

第1図に2006年8月~2007年1月の震源分布,第2図に同期間の月別震央分布と主な地震の発 震機構を示す.また,第3図には深さ30km以浅の地震の分布を示す.

この期間,2006年12月13日に日奈久断層南部(熊本県八代市付近)ではM4.0などの有感地震 が発生した.

九州内陸部の深さ 30km 以浅においては,福岡県玄界灘,熊本市付近,八代市など日奈久 — 布田 川断層系付近に沿う地域,長崎県橘湾から天草灘にかけて,東シナ海での地震活動が活発であった.

尚,本報告は福岡市・気象庁・防災科学技術研究所・鹿児島大学・高知大学・東京大学・京都大 学・東北大学・北海道大学・九州大学のデータをもとに作成された.



第1図 震源分布 (2006 年 8 月~ 2007 年 1 月) Fig.1 Hypocentral distribution (Aug. 2006- Jan. 2007)

06/08/20 02:45 d=8.9km M3.3



第2図 月別震央分布と主な地震の発震機構 Fig.2 Monthly epicentral distribution and focal mechanizms



06/10/9 05:02 d=11.4km M3.4

Fig.2 continued



06/12/07 20:33 d=11.6km M3.6

第2図 つづき Fig.2 continued